

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2024年 3月28日
研究終了日	2026年 4月 1日 まで
研究の名称	閉塞性大腸癌に対する術前大腸ステント留置後の全大腸内視鏡検査成功に関わる因子:単施設後方視検討
研究対象	2017年11月から2023年11月の間にBTSを目的として18mm大腸ステントを留置した中でTCSを試みた症例
対象材料	診療記録
対象期間	2017年11月から2023年11月
研究の目的意義	大腸ステント留置後のTCSの成否に関わる因子を腫瘍因子・手技因子の両面から検討することで、検査前に事前にTCSの難易度を予測することが可能になるとともに、適切なスコープ選択や検査時期を知ることが可能になる。
方法	単施設後向きコホート研究
個人情報の取り扱い	個人情報は院内で取り扱い、匿名化等により院外には出しません。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 消化器内科 藤井 祥史 TEL06-6843-0101